



診療技術部だより



令和4年5月

Vol. 12

今回の診療技術部だよりは中央放射線科が担当です。

診療技術部の多くの方が活躍する心臓カテーテル室が1月リニューアルし、心臓用血管造影装置 Azurion7 B12/12 (PHILIPS 社)が導入されました。

Azurion7のココがすごい!!



大幅な被ばく低減と高画質の両立



ClarityIQという画像処理技術で検出器の感度が大幅に良くなりました。

視野も従来機に比べ広くなり、不整脈や弁膜症など、より多くのカテーテル治療で活躍します。



当院での一般的な被ばく線量 (mGy)

	CAG	PCI
従来機	532.7	948.1
Azurion7	268.7	524.2

50% down 45% down

従来機に比べ **50%近い被ばく低減**と、

高画質による精度の高い治療が実現



患者情報を集約し、効率的なワークフローを生み出す



患者の様々な情報がAzurionに集約され効果的に表示させることが可能になりました。

手技中にスタッフがリアルタイムに多くの情報を共有しやすくなり、より高度な連携で安全に質の高い治療を提供できるようになったと実感しています。



手技時間の減少にもつながるため

患者安静の軽減やDTBTのさらなる短縮も期待できます。

DTBT (Door to balloon time) :

急性心筋梗塞治療の予後を良くする最も重要な因子。病院到着から冠動脈再開通までの時間。病院の総合力。

ガイドラインでは90分以内を求めている。2021年当院平均は**74分**。90分以内の達成度は**84%**



多彩な治療支援アプリケーション



より安全で確実な治療をサポートするための最新ツールが搭載されています。



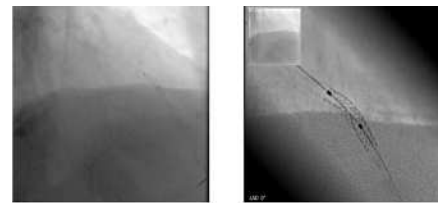
ライブ造影画像 静止面リファレンス画像 Dynamic Coronary Roadmap画像

Dynamic coronary roadmap

透視画像に撮影済みの血管像を重ねて表示することで

安全なワイヤー操作をサポート。

造影剤量と被ばく低減、手技時間短縮につながります。



冠動脈造影画像

Live StentBoost

STENT BOOST

動き続ける冠動脈内でステントの視認性を向上させ

安全/確実なステント留置をサポートします。

再狭窄予防で近年薄くなっているステントも明瞭に描出

最新の CT 装置 : Revolution CT (GE 社製) を導入！！

2022 年 3 月より、当院に新たな CT 装置として Revolution CT が稼働しました。この装置は様々な最新技術が搭載された最上位機種となっています。これから、その特徴について簡単に紹介していきます。

🌟🌟🌟🌟🌟 特徴① 見た目 🌟🌟🌟🌟🌟

木目が周囲にあしらわれ、シックな装いになっており、
とにかくカッコいいです♡

部屋の内装も装置の雰囲気に合わせて一新し、病院にいることを忘れるような明るくお洒落な雰囲気で、患者様からもスタッフからも非常に好評です。(働くのが楽しくなるかも！?)

ご興味ある方は是非見学どうぞ♪



🌟🌟🌟🌟🌟 特徴② 高速撮影 🌟🌟🌟🌟🌟

従来の 4 倍となる 16 cm の範囲を 1 回転で撮影可能となり、要する時間は頭部で 1 秒、体幹部で 2 秒以下、心臓ではなんと **0.28 秒** です！！患者様にとっても優しい検査ですね〜♪ さらに、冠動脈 CT では動き補正技術が搭載され、従来の CT では評価不能だった、高心拍・不整脈の患者様でもきれいな冠動脈画像が作成できます。

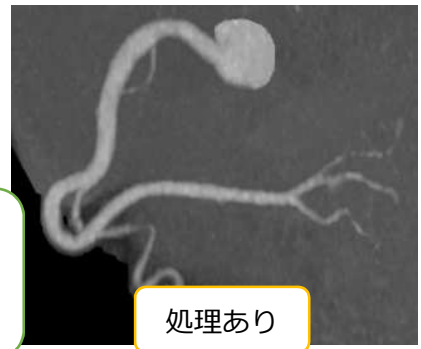


処理なし

心拍数：95 の症例



動き補正処理を行うとこんなに
きれいになっちゃいます！！
(すごくないですか??)



処理あり

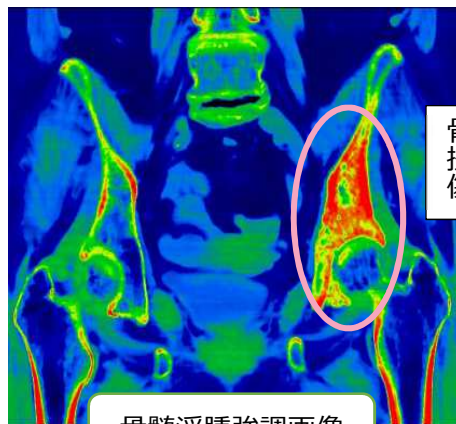
🌟🌟🌟🌟🌟 特徴③ デュアルエネルギー撮影 🌟🌟🌟🌟🌟

この技術は非常に複雑なので詳細は割愛しますが、従来の CT の常識を覆す全く新たな画像が提供できるため、CT の新たな可能性がどんどん広がっています！！(下に画像を紹介します)



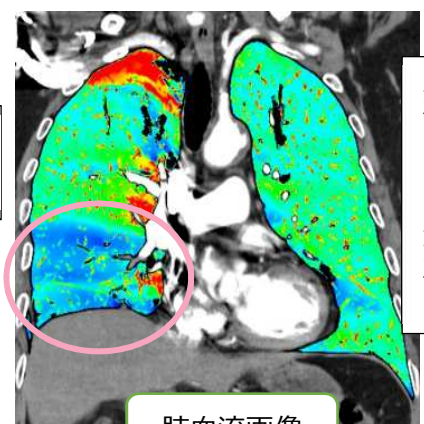
アキレス腱断裂

リアルな腱の 3D



骨挫傷

骨髓浮腫強調画像



血栓による血流低下

肺血流画像

少しは新装置の素晴らしさが伝わったでしょうか！？その能力を最大限活かすべく、スタッフ一同必死に勉強しながら取り組んでいます🍀

(中央放射線科 鈴木 浩之・猪股 崇亨)

～次回(7月号)診療技術部だよりの担当はリハビリテーション科です～